

1. 製品名及び製造者情報

製品名：マックススクリーンプロゲル
会社名：株式会社リンク
住所：〒843-0023 佐賀県武雄市武雄町昭和23-30
電話：0954-27-8021 FAX：0954-27-8025
推奨用途及び使用上の制限：消臭・除菌

2. 危険有害性の要約

【GHS分類】：適用範囲外（製品形態が成形品）であるが、以下に内容物構成成分について記載する

物理化学的危険性：引火性液体；区分外

健康有害性：急性毒性 経口；区分外

経皮；分類できない

吸入；分類できない

皮膚腐食性及び刺激性；分類できない 眼に対する重篤な損傷性

又は眼刺激性；区分2B（亜塩素酸ナトリウム）呼吸器感作性；分類できない

皮膚感作性；分類できない

生殖細胞変異原性；分類できない

発がん性；分類できない

生殖毒性；分類できない

特定標的臓器毒性(単回ばく露)；分類できない

特定標的臓器毒性(反復ばく露)；分類できない

吸引性呼吸器有害性；分類できない

環境有害性：水生環境有害性(急性)；区分3（亜塩素酸ナトリウム）

水生環境有害性(長期間)；分類できない オゾン層への有害性；分類できない

【GHSラベル要素】 絵表示又はシンボル：なし 注意喚起語

：警告 危

危険有害性情報：・眼刺激 ・水生生物に有害

注意書き

〔安全対策〕

- ・本品は食べられません。
- ・誤って飲み込んだ場合は、直ぐに大量の水を飲んで吐き出してください。
- ・万一、眼に入った場合は直ぐに大量の水で洗い流してください。
- ・水に濡れないように注意してください。
- ・雨や汗など水気のあるところでの使用は避けてください。
- ・火気に近づけないでください。
- ・薬剤容器は絶対に倒さないでください。
- ・高温または長時間の直射日光が当たる場所での使用は控えてください。
- ・使用の際は、薬剤容器のキャップを開けてパッキンを外し、再度キャップを閉めてください。
- ・塩素アレルギーをお持ちの方は使用を控えてください。
- ・本品を鼻先で吸い込まないでください。
- ・刺激臭が気になる場合は一時的に換気を行ってください。

- ・換気回数の少ない密閉空間での使用は控えてください。
- ・本品の特性上、臭い（プール臭）を感じる場合があります。不快に感じる場合や気分が悪くなった場合には使用を中止してください。
- ・就寝時は使用しないでください。
- ・皮膚の弱い方、使用中に皮膚や体調に異常を感じた場合は使用しないでください。
- ・金属を腐食させる可能性があるため、金属、貴金属、精密機器等のそばでの使用は控えてください。
- ・密封状態の狭い空間内での使用はしないでください。
- ・妊婦、幼児には使用しないでください。

〔応急措置〕

- ・薬剤が眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受けること。

〔保管〕

- ・高温および直射日光の当たる場所での保管は避けてください。

〔廃棄〕

- ・内容物/容器を(国際/国/都道府県/市町村)の規則に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報 単一製品

- ・混合物の区別：混合物

国際分類および国連番号：該当しない

化学名：亜塩素酸ナトリウム水溶液を吸収した高分子粉末および粘土鉱物をポリプロピレン製容器に充填したもの

成分	含有量（重量%）	化学式	官報公示 整理番号	CAS No.
亜塩素酸ナトリウム水溶液 (二酸化塩素換算約 7500ppm)	79%	NaClO ₂	(化)1-238	7758-19-2
高分子粉末 (アクリル酸重合体部分ソーダ塩架橋物)	2%	—	あり	あり
粘土鉱物	5%	—	あり	あり
ポリプロピレン製容器	14%	—	化審法対象外	—

4. 応急措置

吸入した場合：内容物を吸入した場合は、空気の新鮮な場所に移動させ、体を毛布等で覆って保温し安静に保つ。気分が悪い時は医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合：内容物が皮膚に付着した場合は、汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぎ捨てる。付着した部分は石鹼を用いてよく洗い落とす。皮膚に異常が生じた場合は医師の診察を受ける。

目に入った場合：内容物が目に入った場合は、清浄な水で最低 15 分間目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受ける。洗眼の際、まぶたを指でよく開き、眼球のすみずみまでよく水が行きわたるように目を上下左右に動かす。

飲み込んだ場合：内容物を飲み込んだ場合は、水で口の中をすすぎ、直ちに医療措置を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤：大量の水 使ってはならない消火剤：二酸化炭素

特定の消火方法：・火元の燃焼源を断ち、消化剤を用いて消火する。

- ・周辺火災の場合は、周辺の設備などに散水して冷却する。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
- ・消火水や希釈水の流出により環境汚染を引き起こさないように注意する。
- ・加熱により容器が爆発する恐れがある。消火を行う者の保護：大量の有毒なガス（塩素、二酸化塩素、一酸化炭素等）が発生する可能性があるため、消火作業は必ず自給式呼吸器等の保護具を着用し、風上から行う。

6. 漏出時の措置 人体に対する注意 事項：

- ・内容物が漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止する。
- ・回収作業の際には必ず保護具を着用し、蒸気やミストの吸入、及び眼、皮膚、衣服への付着を避ける。
- ・風下で回収作業をしてはならない。

環境に対する注意事項：

- ・内容物を土壌に浸透させてはならない。下水、河川、排水溝等に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法・機材：

- ・付近の着火源となるものを取り除き、火災発生の防止に努める。
- ・漏出した内容物は土砂等に吸収させ、密閉式の容器に回収する。
- ・おがくず他、可燃性吸収物質は使用しない。
- ・室内で漏出した場合は、窓を開けて十分に換気すること。
- ・回収物は「廃棄上の注意」の項の記載に準じて処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い：

- ・内容物を取り扱う場合は、密閉された装置／機器類を使用するか、局所排気装置を使用して取扱う。
- ・内容物を吸い込んだり、眼、皮膚及び衣類に触れないように、適切な保護具を着用する。
- ・作業後は石鹼を用いて手洗いや洗顔を励行する。

保管：

- ・容器は確実に密閉し、保管場所は火気厳禁とする。
- ・直射日光及び高温を避け、乾燥した換気のよい冷暗所に保存する。
- ・可燃性物質、還元性物質、強酸から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置 設備対策：内容物を取り扱う場合は、設備/装置全体を密閉化するか、局所排気装置を設置する。

取扱い場所近くに、洗眼器および身体洗浄シャワーを設置する。

管理濃度:作業環境評価 基準；設定なし

許容濃度:

- ・二酸化塩素：日本産業衛生学会(2012 年) 1)；設定されていない
ACGIH-TWA(2012 年)2) ; 0.1ppm
ACGIH-STEL(2012 年) 2) ; 0.3ppm
- ・高分子粉末：日本産業衛生学会(2007 年)3) ; 8mg/m³ (TWA：第 3 種粉塵 総粉塵)
ACGIH-TWA(2007 年)3) ; 10mg/m³

保護具：不浸透性の手袋、保護眼鏡又は防災面、長靴、前掛け、保護衣、送気マスク等

9. 物理的及び化学的性質

形状：プラスチック製円筒容器（直径約 6 cm×高さ約 6 cm）の中にゲル状物が充填されたもの。円筒容器のキャップは穴あきキャップで、パッキンが付属している。ゲル状物の表面は不織布で覆われている。

色：円筒容器は白色、内容物は淡黄色～褐色。

臭い：無臭（キャップを開けてパッキンを外した状態では微量の塩素様臭があることがある）

内容物の引火点：データなし

内容物の発火点：データなし

内容物の融点：データなし

内容物の密度：データなし

内容物の pH：6～7

内容物の爆発範囲：データなし

内容物の蒸気圧：データなし

内容物の溶解性：水に不溶

（参考データ）

亜塩素酸ナトリウム水溶液の色、臭い：無色透明～極淡黄色液体、微量の塩素臭

亜塩素酸ナトリウム水溶液の pH：12

亜塩素酸ナトリウム水溶液の密度：1

高分子粉末の pH：約 6（0.5%生理食塩水溶液に分散時）

10. 安定性及び反応性

安定性：通常取り扱い条件においては安定

特殊条件下で生じる危険な反応：

- ・内容物と酸と反応して有毒な塩素ガス
- ・二酸化塩素ガスが発生し、爆発をもたらす可能性がある。
- ・内容物の燃焼により有毒ガス（塩素、二酸化塩素、一酸化炭素等）が発生することがある。

11. 有害性情報

本品自身のデータはない。

（参考データ）内容物構成成分のデータ

亜塩素酸ナトリウムの急性毒性データ 飲み込んだ場合、腹痛、嘔吐等を引き起こす

吸入毒性；ラット LC50 0.23 mg/l(4h) 5)

経口毒性；ラット LD50 165 mg/kg 5)

経皮毒性；ウサギ LD50 107.2 mg/kg 5)

高分子粉末の急性毒性データ 経口毒性；ラット LD50 2000mg/kg 以上（類似品）6)

亜塩素酸ナトリウムの皮膚腐食性及び皮膚刺激性：亜塩素酸ナトリウムはヒトの皮膚において重度の刺激性を生じる。5) 亜塩素酸ナトリウム 3000ppm 水溶液の皮膚刺激性に関するデータは無いが、人によっては刺激を生じる恐れがある。

高分子粉末の皮膚腐食性及び皮膚刺激性 人パッチ試験：皮膚に対して安全（類似品）6)

一次刺激性：無刺激(ウサギ)（類似品）6) 連続刺激性：無刺激(ウサギ)（類似品）6)

亜塩素酸ナトリウムの眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 亜塩素酸ナトリウムはヒトの眼において重度の刺激性を示す。5) 亜塩素酸ナトリウム 3000ppm 水溶液の眼刺激性に関するデータは無いが、人によっては刺激を生じる恐れがある。

高分子粉末の眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 洗眼群：無刺激(ウサギ)、非洗眼群：實際上無刺激(ウサギ)(類似品) 6) 粉末が目の角膜を傷つける恐れがある
高分子粉末の呼吸器感受性 微粉を吸入すると、器官に炎症を 起こす恐れがある。
高分子粉末の皮膚感受性 認められない (モルモット) (区分外) (類似品) 6)
亜塩素酸ナトリウムの生殖細胞変異原性

亜塩素酸ナトリウムはマウスを用いた in vivo 小核試験において陽性を示した。5)
高分子粉末の生殖細胞変異原性 陰性 (エームズ テスト) (類似品) 6)
亜塩素酸ナトリウムの発がん性： IARC 3(ヒト発がん性については分類することができない)7)
高分子粉末の発がん性： 高分子粉末の構成成分は IARC モノグラフにランクアップ されていない 3)
亜塩素酸ナトリウムの生殖毒性： 生殖 毒性が認められない。5)
亜塩素酸ナトリウムの特定標的臓器毒性 単回ばく露：呼吸 器系、腎臓への障害の恐れがある。5) 反復ばく露：心 臓、血液への障害の恐れがある。5)
亜塩素酸ナトリウムの吸引力呼吸器有害性 データなし その他の情報：特になし

1 2. 環境影響情報 本品自身のデータはない。

(参考データ) 内容物構成成分のデータ 亜塩素酸ナトリウムおよび
高分子粉末の分解性：データなし 亜塩素酸ナトリウムの生態毒性：水生生物に対し有毒である。5)
・毒性データ

オミジノ ;EC50(48h) 0.026 mg/l

注) EC50：50%遊泳阻害濃度

残留性/分解性：データなし

生体蓄積性：データなし

オゾン層への有害性：データなし

1 3. 廃棄上の注意

- ・関係法令を遵守し、自治体の指示に従う。
- ・都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体が処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。
- ・汚染容器及び包装は、付着物を完全に除去した後に処分する。

1 4. 輸送上の注意

- ・国際規制：航空輸送は I C A O / I A T A 及び海上輸送は I M D G の規制に従う。 国連分類：本品自身は 非該当であるが、構成成分の亜塩素酸ナトリウムは 5.1 に該当 国連番号：本品自身は非該当であるが、構成成分の亜塩素酸ナトリウムは 1496 に該当 応急措置指針番号：非該当
海洋汚染物質：非該当
- ・国内規制： 陸上輸送：消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
海上輸送：船舶 安全法に定められている運送方法に従う。
- ・容器の破損、洩れ等をお確かめ、衝撃、転倒、落下、破損のないように積み込み、荷崩れ防止を確実に 行う。
- ・輸送関係法規を厳守する。

1 5. 適用法令

化審法：特定化学物質：該当せず

